

私のギター始め

JA1WOB 齋藤 章

私がギターを弾き始めたのは、1964年の高校1年の頃でした。高校のクラスの中で話題になっていたのは、ベンチャーズやスプートニクスなどのエレキギターを使った、インスメンタルのグループでした。その後は、G/Sを代表とする、エレキとボーカルのバンドで、ブルーコメッツ、タイガース、スパイダースなどで、ビートルズはあまり聞きませんでした。当時のエレキギターは高価で、高校生の小遣いやアルバイトで購入できるものでは有りませんでした。

それでも、クラスの中にはアルバイトでエレキギターを購入して、エレキバンドを始めた奴らもいました。

更に、アメリカンフォークとかカレッジフォークとかが出てきて、電気の要らないギターで、フォークソングバンドを組む仲間も出てきました。

私のもう一つの趣味である、アマチュア無線の地域クラブで、夏休みにキャンプと野外無線実験の他に、余興として、各グループごとに宴会芸をする事になりました。(フィールドデーコンテスト合宿イン道志村)

そして、ギターが弾ける(触れる)4人が集まりフォークソングバンドが出来ました。(NPH、SIU、TTS、WOB)

当時、私持っていたギターは3千円位の安物の演歌流しギターでした。

一弦ごとメロディーを弾くとスチール弦の軽い音質で、コードを弾く何となく濁りのある音質でスッキリはしていませんでした。

このギターに、マイクを付けてエレキもどきにしたり、ガット絃にしたり、色々イタズラをして、最後は廃棄してしまいました。(改造好きなハム)

ギターのアンプは勿論自作の6AR5Sで16センチのスピーカーです。

他のメンバーのギターは、大き目のウエスタンギターやヤマハのフォークギターだった様に思います。

練習は、土曜日の午後や日曜日に集まってグループ練習をしていました。

始めて間もない頃だったので、練習方法も良く分りませんでした。

丁度その頃に、4歳上の兄から大学のクラシックギターのクラブの練習メニューを教えて貰いそれを実行しました。

その練習は、ドレミファソラシドを左手の4本指を使い毎日行いました。

クラシックギターの練習メニューには、コードの抑え方は無かったので、コード抑えは、フォークの教則本を見て抑え方を練習しました。

「バラが咲いた」「花はどこへ行った」「パフ」「500マイル」など簡単なコードの曲で練習しました。

C Am F G7やAm Em Dm G7 などですが、やはりFが難しくて

抑えが甘くなってしまう。それでも、毎日、毎日、Fを練習しました。昔の国鉄電車の73系には、車内にセンターポールがあったので、捕まるときはFの抑え方で、捕まり指にFを覚えこませました。

右手のワルツリズムやアルペジオも毎日の練習メニューでした。

スリーフィンガー奏法は、当時名前は知りませんでした。自分では変則アルペジオとして弾いていました。

アマチュア無線の地域クラブの余興はその後も続き、夏休みキャンプやクリスマスパーティーなどで、仲間内のステージで楽しんでいました。

そんなある日、バンドのリーダーから「障害者施設から演奏会を要望された」との連絡がありました。(その時のリーダーがNPH)

仲間内のステージは、宴会の延長でしたが、障害者施設といえども見知らぬ人に聞かせるには、自信がありませんでした。

そこで、リーダーから「バラが咲いた」の間奏ソロ演奏をして盛り上げようと事になり、何度もメロディーの練習をしました。

そして、障害者施設から演奏会は大成功に終わり、拍手喝さい、アンコールを貰い、それからギターを弾くのが好きになりました。

その後、3000円の演歌ギターから8000円のクラシックギターになりました。このギターは40数年を超えて現在でも健在ですが出番は少なくなりました。

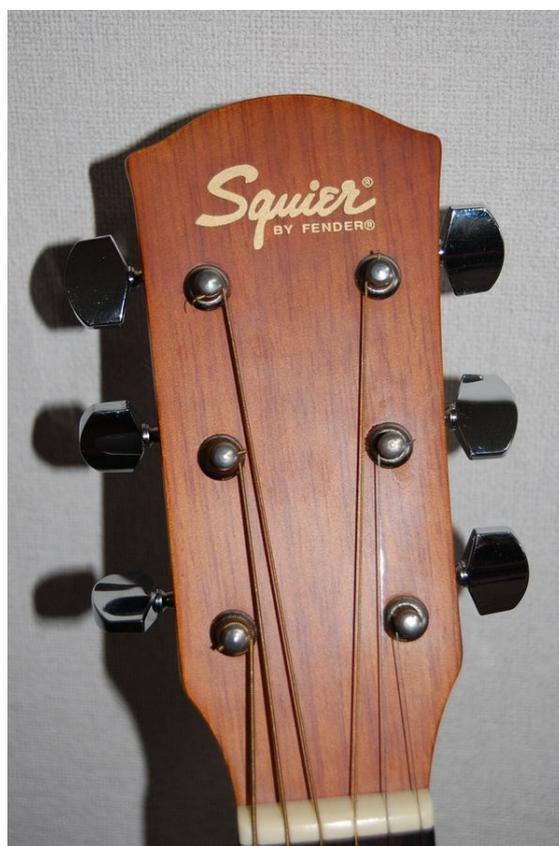
子供が小学校で少年野球をしていた頃に、コーチとして手伝っていた頃に、卒業パーティーなどでみんなと歌う時に、「翼をください」などの伴奏をした事があります。

写真は40数年前に購入したギターとヘッド部分



55歳を過ぎて、仕事も忙しく無くなった頃に、手軽にいつでも弾けるミニギターが欲しくなり、誕生祝いに妻からプレゼントしてもらったのが、FENDARのミニギターです。
FENDARはエレキで有名なメーカーなのでアコースティックギターがあるのは知りませんでした。
店でこのFENDARのギターと知らないメーカーの弾き比べをしてみましたら、やはり、FENDARの方がいい音をしていました。

FENDARのミニギターとヘッド部分



最近では、このギターでフォークから演歌までの演奏を楽しんでいます。

2014年2月 記